

【原子力専攻】教育改善対応リスト

日付	評価項目・改善項目	意見・コメント	対応計画	ステータス	評価と今後の方針
2022	実験・実習レポートに関して	実験・実習1のレポート等において、実験・実習レポートの書き方を修得していないものが散見され、実験・実習担当講師の負担を増大させている。	2023年度から、年度初めのテーマは、JAEA側に提出する前に、東大のとりまとめ教員がレポートの体裁のチェックをすることとした。	改善対応済	東大側の教員で一次チェックをすることによって改善された。
2022	実験・実習レポートに関して	実験・実習レポートを、提出したり、講師によるコメントが入って返却されたものを受け取ったりするためだけにJAEAに入構するのは非効率である。	電子媒体での提出・返却等を可能にするようにする。	改善対応済	電子的な提出が可能となり、学生・教員ともに利便性が向上した。
2023	出席表	紙でなく、WEBでできないか。	外部講師が多いため学内システムを利用することが難しい。署名が面倒ということなら教員が点呼でも十分と思われる。出席簿へ点呼による追加記載する。	対応計画中	
2023	学生への通知体制について	炉物理演習で予習の指示が講師から事務に入っていたものの、学生への情報共有が遅れていた。	事務で講師からの指示の周知体制を見直し、経過を観察する	改善対応中	
2023	特別講義内容について	特別講義講師（講義内容）に関して、学生からリクエストがあった。	次年度以降特別講義講師選定時に参考とする	改善対応中	
2023	修了後の特別講義について	OBが特別講義の案内を受け取れ、参加できることはうれしいが、勤務中のため参加できないことが見込まれる。録画視聴などができるとよい。		対応計画中	
2023	図書室の蔵書	原子力教科書シリーズの在庫がないものがある	基本的には学生自身で購入することを推奨しているが、専攻の在庫に関しても紛失などがないか確認する。	改善対応中	年度の終了時に図書の蔵書状況を確認する。
2023	前期の講義に関して	前期の講義が大変であり、事前に知っておきたかった。後進のためにも、「前期は特に予習・復習をするように」と講義中などに伝えてほしい。	事前学習・確認試験を通して周知・自覚するよう対応する。	改善対応済	2024年度の習得状況を確認し、次年度の対応を検討する。
2023	プラント視察に関して	1Fの視察で、現在は廃炉資料館を見学しているが、伝承館の方が見ごたえがあったため、検討してもよいのでは。	廃炉資料館が1Fへのバスの起点になっている。伝承館は入館料もあるため、利点・欠点含めて継続して検討する。	改善対応中	
2023	入学前学習とその確認試験について	重点的に学習すべき項目を挙げてほしい、確認試験のフィードバックがない、難易度が専攻で学習する内容とミスマッチがある	各科目について講義内でフォローすることが確認された。	改善対応中	入学前学習について、継続して評価・議論する。
2023	プラント視察に関して	1Fの見学は福島学の試験より前に実施してもらう方が学習効果が高い	2024年度以降は日程に配慮する。	改善対応済	以降の学生からのフィードバックで効果を確認する。
2024	講義室のプロジェクトについて	午前中は特に日が直接プロジェクトの投影部にあたり、見えにくい。	窓に遮光板を設置	改善対応済	今後、同様の意見があれば更なる対応を検討。